

日本スポーツマネジメント学会第13回大会 一般研究発表スケジュール

時間	A 会場		B 会場	
9:00 ～ 9:25	座長 久保和之 (龍谷大学)	① ステークホルダー視点のレバレッジ戦略：ツール・ド・おきなわの戦略目標に着目して 山口志郎 (流通科学大学)	座長 松永敬子 (龍谷大学)	② スポーツ事業を通じた産官学人材育成事業のマネジメント的課題：学生舞洲プロジェクトの事例から 堀込孝二 (大阪国際大学)
9:30 ～ 9:55		② アーバンスポーツツーリズムのニーズに関する分析：Web アンケートによる調査 橋本要 (札幌大学)		③ 国際的なスポーツエグゼクティブ教育における効果の検証：MESGO 東京セッションを事例として 塚本拓也 (筑波大学)
10:00 ～ 10:25		③ ウィズコロナ時代のスポーツホスピタリティの可能性：ラグビーワールドカップ時の実績とその活用 倉田知己 (ジャパン・スポーツ&ツーリズム・プレミア)		④ 大学スポーツの学生組織に関する論理的考察 江原謙介 (追手門学院大学)
10:30 ～ 10:55	座長 和田由佳子 (立命館大学)	④ 双方向型観戦サービスにおける観戦者行動：Jリーグ、プロ野球観戦者を対象として 出口順子 (東海学園大学)	座長 大西孝之 (龍谷大学)	④ メガ・スポーツイベントが開催地域住民にもたらすポジティブな社会効果と定住意向の関係性：2010年広州アジア競技大会を中心に 焦健 (早稲田大学大学院)
11:00 ～ 11:25		④ 学校でのスポーツ観戦による小中学生の感動体験創出のプロセス 小溝拓 (順天堂大学大学院)		④ SROI (社会的投資収益率) による社会効果の可視化 (1) 押見大地 (東海大学)
11:30 ～ 11:55		④ エクストリームスポーツイベントにおけるスポンサーフィット：イメージフィットとフィーリングフィットの検証 Kaiyi Zheng (法政大学大学院)		④ SROI (社会的投資収益率) による社会効果の可視化 (2)：松本山雅FCの巡回サッカー教室を事例とした実証研究 福原崇之 (北海道教育大学)
12:45 ～ 13:10	座長 二宮浩彰 (同志社大学)	④ 行動的ロイヤリティと人生の満足度：トライアスロン関与によるセグメンテーション 安邦 (早稲田大学大学院)	座長 押見大地 (東海大学)	④ ラグビーワールドカップ2019に関するツイート内容分析 関野弘一 (早稲田大学大学院)
13:15 ～ 13:40		④ スポーツにおけるファンエンゲージメント行動「顧客相互支援行動」について 齋藤れい (桐蔭横浜大学)		④ ラグビーワールドカップ2019観戦者の研究：スポーツホスピタリティの観点から 西尾建 (山口大学)
13:45 ～ 14:10		④ スタジアム観戦者のセグメンテーション：性別とファンのタイプに着目して 和田由佳子 (立命館大学)		④ スポーツマネジメントに関する研究動向 (1)：2016-2020における学術論文の基礎的分析 柴田紘希 (山梨学院大学)
14:15 ～ 14:40	座長 足立名津美 (京都先端科学大学)	④ スポーツ観戦者における主観的知識：スポーツ観戦関与および行動意図との関係 松原優 (早稲田大学大学院)	座長 長積仁 (立命館大学)	④ 中高齢女性におけるスポーツ・身体活動の実施者と非実施者との比較 河野夏美 (順天堂大学)
14:45 ～ 15:10		④ 大学運動部における女性コーチ雇用に必要な働きかけ：O大学女子バスケットボール部を対象として 三倉茜 (順天堂大学大学院)		④ ユースアスリートのウェルビーイングとスポーツ参加の継続意図に影響を与える要因に関する研究 木下敬太 (早稲田大学スポーツ科学研究センター)
15:15 ～ 15:40		④ 女性エリートアスリートのキャリア選択に与える影響要因の検討 山田優梨菜 (順天堂大学大学院)		④ 応援チーム敗退後のトーナメント観戦行動：甲子園大会を対象にした検証 ラチポワ・エンジェー (早稲田大学)
15:45 ～ 16:10		④ 日本の Gender Equality Toolkit の開発のためのスポーツ組織の現状と課題 竹澤美郁 (順天堂大学大学院)		④ スポーツマスマスギヤザリングと呼吸器感染症の拡大：プロ野球興行とインフルエンザ 舟橋弘晃 (早稲田大学)

① = 実践研究 ② = 学術研究